



2023年4月26日

各 位

上場会社名 **清水建設株式会社**
代表者名 取締役社長 井上 和幸
(コード:1803 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 経理部長 蜂屋 隆之
TEL 03-3561-1111 (大代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

2023年1月31日に公表いたしました、2023年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

なお、2023年3月期の期末配当につきましては、当初予想どおり1株当たり10円50銭(年間21円)を予定しており、配当性向は31.7%となります。

記

1. 連結業績予想数値の修正

2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,960,000	71,500	70,000	51,500	69円59銭
今回修正予想 (B)	1,933,800	54,600	56,500	49,000	66円22銭
増減額 (B)-(A)	△26,200	△16,900	△13,500	△2,500	
増減率 (%)	△1.3	△23.6	△19.3	△4.9	
(参考)前期実績(2022年3月期)	1,482,961	45,145	50,419	47,761	64円09銭

2. 個別業績予想数値の修正

2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,590,000	50,000	55,500	46,500	62円76銭
今回修正予想 (B)	1,557,300	33,100	41,300	41,700	56円28銭
増減額 (B)-(A)	△32,700	△16,900	△14,200	△4,800	
増減率 (%)	△2.1	△33.8	△25.6	△10.3	
(参考)前期実績(2022年3月期)	1,287,352	34,859	43,926	45,735	61円26銭

3. 修正の理由

<個別業績予想>

一部の国内大型建築工事で、①資材価格高騰などの影響により過年度に工事損失引当金を計上したが、2022年度においても建設コストが上昇基調で推移し、調達段階でさらなる見積総原価の増大が見込まれることとなった、②中国におけるロックダウンの影響による資材の納入遅れなどから工程が逼迫し、工程促進費用が発生したため、施工効率化による工事原価の圧縮に努めたものの、当該費用の全てを吸収できず、工事損失の発生が見込まれることとなった、などの事象が発生しました。

また、過年度に工事損失引当金を計上した海外大型建築工事で、円安の影響や労務費の増加などにより、見積総原価の増大が見込まれることとなりました。

これらを主要因とした工事損失引当金の計上に伴い、完成工事総利益が前回予想に比べ、減少する見込みとなりました。

この結果、前回予想に比べ、営業利益は 169億円、経常利益は 142億円、当期純利益は 48億円の減益となる見込みです。

なお、完成工事利益率は、前回予想の6.6%（建築5.9%、土木10.2%）に対し、5.2%（建築4.1%、土木10.9%）となる見込みです。

<連結業績予想>

主として個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想を修正するものです。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

(ご参考)

2023年3月期 受注(契約)高実績(個別)

(単位：億円)

	当期実績	前回予想 (2023年1月31日公表)
建築(うち海外)	11,426 (415)	10,100 (300)
土木(うち海外)	2,585 (630)	2,400 (300)
建設事業計(うち海外)	14,012 (1,046)	12,500 (600)
開発事業等	1,146	1,200
合計	15,158	13,700

以 上